

第1号

JR 東逗子駅前用地活用に向けた ワークショップ News Letter

JR東逗子駅前用地活用事業とは

逗子市では、JR東逗子駅前用地活用事業として、JR東逗子駅東側の、逗子市土地開発公社が所有する旧国鉄清算事業団用地（ここでは東逗子駅前用地とします。）を有効活用して、公共施設を集約するとともに、逗子のまちづくりに求められる機能を導入した複合施設として整備することで、駅周辺の快適性、利便性の向上及び地域の活性化を図ることを目的とした検討を行っています。

令和4年度にはこれに向けた「JR東逗子駅前用地活用事業 基本構想」を策定し、複合施設の目指すべき方向性や複合施設に求める大枠の機能や効果を定めてきました。

今年度は、事業の具体化を進めるため、複合施設の導入機能や施設の規模などについて検討し、「JR東逗子駅前用地活用事業 基本計画」を策定します。

複合施設をより良いものとするためには、既存の施設を効率的に集約するだけでなく、実際に施設を利用する市民の皆さんのニーズやアイデアを把握し、施設整備を検討する必要があります。

JR東逗子駅前用地活用に向けたワークショップの開催について

そこで逗子市では、市民の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催することといたしました。開催に当たっては、市のホームページや広報等により参加者を公募し、たくさんのご応募をいただきました。また、逗子市と連携協定を結ぶ関東学院大学の学生の方にも参加いただき、市内外の多世代の方と共に考える場を設けました。

初回となる第1回ワークショップでは、参加者の方からこの場所でどんな活動がしたいか？そのためにはどんな機能（施設）があれば良いかをグループで議論し、ご意見をいただきました。

第1回ワークショップの開催概要「東逗子駅前用地の使い方を考えよう」

開催日時 令和5年7月30日（日） 9：30～12：30

開催場所 逗子市商工会館

第1回ワークショップの流れ

1. ワorkshop実施の趣旨説明
2. 現地見学会
3. 自己紹介
4. 検討テーマ①
「快適性・利便性・賑わい創出に向けた活用イメージ・
使い方を具体的に考えよう」
5. 検討テーマ②
「具体化した使い方ができる機能（施設）を考えよう」
6. 検討テーマ③
「東逗子駅前用地の活用コンセプトを考えよう」
7. 発表



事業用地と集約施設の概要

□事業用地（東逗子駅前用地）



東逗子駅前用地の一部は、東逗子駅前広場として月1回の朝市や夏祭り、イルミネーションなどで利用されています。

また、沼間小学校区放課後児童クラブは、令和6年度に沼間小学校の敷地内に移転が予定されています。



□集約施設

沼間小学校区コミュニティセンター

建築年度：1988年度（築35年）
 諸室構成：講堂、会議室、調理室、工作室
 学習室、オープンスペース、和室
 授乳室、住民協事務室 など
 利用用途：市民活動、地域活動、市民交流
 子ども食堂、自習室、スポーツ
 レクリエーション など



子育て支援センター

建築年度：2002年度（築21年）
 諸室構成：プレイルーム、和室、授乳室
 ファミリー・サポート・センター
 利用用途：子育て広場、子育て相談
 預かり（ファミリー・サポート・センター）
 保健師相談、ミニ講演会 など



図書館沼間分館

諸室構成：書架、児童コーナー
 蔵書 約11,200冊
 利用用途：本の閲覧・貸出・返却 など



東部地域包括支援センター（保健センター内）

諸室構成：執務室、相談室、会議室
 利用用途：福祉の総合相談窓口



福祉会館

建築年度：1970年度（築51年）
 諸室構成：執務室、研修室、会議室、相談室
 ボランティアコーナー、録音室など
 利用用途：市民活動、地域活動、市民交流
 ボランティア団体の活動拠点 など



東逗子駅前公衆便所

建築年度：1973年度（築50年）
 諸室構成：男子トイレ、女子トイレ
 利用用途：トイレ
 （多目的トイレ、洋式便器の導入なし）



第1回ワークショップの概要

第1回ワークショップは、総参加者33名(うち関東学院大学の学生5名)の方に参加いただき、6つのグループに分かれて、グループディスカッション形式で検討を行いました。

初めに東逗子駅前用地の規模や現状を知って、検討のイメージを持っていただくため、現地を見学しました。

検討では「①東逗子駅前用地の活用イメージ」、「②実現するための機能(施設)」、「③東逗子駅前用地の活用コンセプト」について検討しました。

【参加者の概要】()内は関東学院大学の学生
男性17(3)名 女性16(2)名 合計33(5)名
【タイムスケジュール】

プログラム	タイムスケジュール
① 挨拶・趣旨説明	9:30～ 9:50
② 現地見学会	9:50～10:20
③ 自己紹介・アイスブレイク	10:30～10:40
④ 検討テーマ①	10:40～11:35
⑤ 検討テーマ②	
⑥ 検討テーマ③	11:35～11:50
⑦ 発表	11:50～12:30

検討テーマ① 快適性・利便性・賑わい創出に向けた活用イメージ・使い方を具体的に考えよう

この場所(東逗子駅前用地)でどんなことをしたいか、意見を出し合いました。

- 行政支援(子育て支援や、福祉支援)に関すること
 - ・行政窓口や書類の発行・受付ができる ・子育ての相談、福祉の相談ができる
 - ・子育て、観光、地域の情報を得られる(掲示板や案内板)
 - ・子育て支援(療育や保健指導、託児室などの支援)、授乳やおむつ替えができる場
- 学習や働きを支援すること
 - ・コワーキングやリモートワーク、オンライン会議、勉強や読書、会議、ボランティア活動ができる
 - ・図書スペース、図書館など本を借りられる ・勉強だけでなく経験として子供が学べる
- 地域の人々の活動を実現すること
 - ・手話教室、ダンス、運動、料理、絵描き、合唱、楽器の演奏、DIYなどの趣味や習い事ができる場
 - ・習い事の発表ができる場(ダンスなど) ・地域の活動の会議や自治近、町内会の会議ができる
- 飲食の販売に関すること
 - ・気軽に買い物できる・飲食の販売(飲食店、カフェ、キッチンカー、道の駅)
 - ・近隣の商店と連携
- 地域の人や多世代の交流に関すること
 - ・飲食ができる ・観光者の拠点となる(案内板の設置やシャワーや着替え場所など)
 - ・地域の人々が交流、おしゃべりができる
 - ・待ち合わせや休憩、散歩など目的がなくても利用できる
 - ・交通安全や、青少年教育、介護教室の実施、教職員の教育等研究発表など学べる場
 - ・子どもたちが遊べる ・演奏会や祝辞(結婚式や誕生日のお祝いなど)ができる
 - ・イベント(フリーマーケットやリサイクルイベント、マルシェや市場、お祭り、講演会など)の開催・出店 ・菜園、畑、庭園など農業的な体験ができる
 - ・木々や植栽などの季節を感じることができる ・米軍の射撃体験、交流
- 防災対策に関すること
 - ・防災訓練、災害時の集合場所、シェルター
- 安心して利用できるトイレ
 - ・多目的トイレ(身体障がい者向けのトイレ、子どもトイレ)24時間利用できるトイレ
- 施設を利用しやすくするための交通手段に関すること
 - ・来場者の駐車、駐輪 ・公共交通のターミナル、シェアサイクル
- 施設の管理に関すること
 - ・施設管理者の常駐場所



※各グループの意見を集約してまとめているため、一部表現が変わっているものがあります。

検討テーマ② 具体化した使い方ができる機能（施設）を考えよう

2つ目の検討では、活用のイメージを踏まえ、それを実現するためにはどんな機能（施設）があれば良いか意見を出し合いました。

集約する公共施設にない新しい機能として、「広場」、「託児室」、「コワーキングなどの働く場」、「飲食店やカフェ、キッチンカーなどの飲食を伴い集まれる場」、「観光や子育て、地域についての情報コーナー」などの意見がありました。



赤字下線…集約する公共施設にない新しい機能（施設）

具体的な機能（施設）

- ・総合案内 ・行政窓口機能（受付発行、**観光案内**）
- ・相談機能（子育ての相談、福祉の相談 防音の相談部屋）
- ・**情報伝達機能**（**子育ての情報**、**観光情報**、**地域の情報**）
- ・子育て支援機能（**療育**、**託児室**、授乳室、こどもトイレ）
- ・料理ができる部屋 ・合唱や楽器の演奏ができる場（防音の部屋、**音楽室**）
- ・運動やダンス・踊りができる場 ・作業室（**リモートワーク**や**コワーキング**） ・勉強、学習室
- ・会議室、多目的スペース（可変性がある、大きい）
- ・飲食機能（**飲食店舗**、**カフェ**、**キッチンカー**、自動販売機、**コンビニ**）
- ・フリースペース（椅子・机を配置、飲食が可能、Wi-Fiがつながる） ・図書スペース、図書館
- ・子どものプレイスペース ・**映画館** ・発表する場、講堂（習い事や趣味等活動の発表）
- ・**広場**（椅子・机の設置、大きめの広場、木陰や庇、緑がある）
- ・来場者の駐車場、交通アクセス機能、ミニバス

※各グループの意見を集約しまとめているため、一部表現が変わっているものがあります。

検討テーマ③ 東逗子駅前用地の活用コンセプトを考えよう

東逗子駅前用地について、グループごとに賑わいや交流を生むためのコンセプトやキーワードを考えました。

共通するキーワードとして「誰でも」、「気軽に」、「集まれる」、「交流」、「多世代」、「やりたいことができる」、「安心」などがありました。

各グループのコンセプトやキーワード

「集まりたくなる場所」

- ・逗子で暮らす人や過ごす人たちを支える施設
- ・誰でもフラッと立寄れる施設（高齢者、障がい者、外国人、子ども）
- ・つながる・ひろがる場 ・多世代が集える ・広場に集まる
- ・住宅地と駅を結ぶ。交通機関が大前提。生活利便性の向上！！
- ・明るく気軽に安全に使える場 ・訪れる動機が生まれる

「誰でも来れるたのしい場所」

- ・ここに来れば多様な多世代の人が集まっている
- ・今ある良さを残す、みんなで集まれる、誰でも来やすい、遠くから見えるシンボル性・開かれた広場
- ・すき間時間に利用できる、交通手段・配置・アクセス・設備、身体障がい者の方・子育て中・高齢者・市内外、小中高生・駅利用者

「誰でも気軽に使えるフリースペース」

この場所でのぎわい・交流を生むためには、誰でも気軽に使えるフリースペース、子供の遊び場、親子の交流の場、また、それを伝える情報スペースや、知らない、使っていない人も見られたり参加できるイベントスペースがあるといい

「安心して地域の人々が学んだり運動したり語り合える交流の場を中心とした施設にしたい！」

「誰でも気軽に安心して立寄れる、交流と情報交換の場」

「やりたいことが「実現できる」「見つかる」「サポートできる」場所！」

- ・年間を通して多世代がつながる